

青木 一

あおき はじめ

教育経営学



学級経営や学校づくりに関する今日的・実践的な課題を通し、学校経営改革における管理職のリーダーシップや学校組織マネジメントの研究を行っています。拠点校等では、それぞれの課題に向き合い、学校・学級経営の全体構造と教師の役割を理解したり、同僚性の活性化や学校運営の改善を目指したりするための戦略（方略）を議論したいと思います。

2022年4月1日現在

# 畔上 一康

あぜがみ かずやす

教師教育学



授業づくりや学級経営を中心に、実践と省察の往還を通して、技術や方法の背景にある子ども観や授業観等、教師の《観》の変容に注目して研究を行っています。実践に始まり実践に還る、借り物でない専門職としての教師の学び（実践知）、その学びを育む学校組織を、共に考え編み直していきましょう。

2022年4月1日現在

# 大畑 健二

おおはた けんじ

学級経営 教師教育 教科教育学（社会科）



「先生、明日も今日の続きをみんなで考えようね」子どもと教師が共に学び続けることができる教室を求め、〈教師の学び〉に視点をあてて研究を進めています。異なる多様な一人一人の子どもの個性的な学びを捉え、教室の仲間といかに学びを深めていくことができるのか、授業における教師の役割について考えています。そして、子どもの姿を手がかりに自らの見方や考え方への問い直しから授業を再構成していく私たち教師の省察的实践について共に考えていきましょう。

2022年4月1日現在

奥村 真衣子

おくむら まいこ

特別支援教育、障害児者心理学



場面緘黙のある人の心理と支援について研究しています。何らかの理由により学校生活に不安や不安全感を抱える子ども達が、クラスに参加できている実感や充実感をもてることは、以降の自己肯定や良好な対人関係の形成に影響します。多様なニーズのある子ども達に対して、地域・学校・学級・子ども個人といった視点から、一緒に考えていけたらと思います。

2022年4月1日現在

# 笠原 大弘

かさハラ もとひろ

理科教育、学級経営



小中学校の担任を経験し、発達段階に応じた教育内容と教育方法を学んできました。子どもたちが生き生きと学ぶために、教師として何ができるのか。これまでの経験を理論というふるいにかけて、実践と理論を往還させながら目の前の子どものために何ができるかを共に考えていきたいと思っています。

2022年4月1日現在

# 上村 恵津子

かみむら えつこ

学校心理学、特別支援教育



障害児教育や学校心理学をベースに苦戦している子どもへの支援やコンサルテーションに関する実践・研究を行っています。一人ひとりの子どもを丁寧に理解することは、その周辺の人的・物的環境を理解することにもつながります。日々の実践をそんな視点から検討し合うことができればと思っています。(兼担教員)

2022年4月1日現在

# 北澤 嘉孝

きたざわ よしたか

学校経営



「student first」と「チーム支援」をコンセプトに、子どもたちに将来必要となる力を育成する学校づくりのあり方について考え、実践してきました。子どもたちが、「多様な人々と協働しながら社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手」に育っていくために、学校・教師が果たすべき役割は何か―教員としてのライフステージ全体を俯瞰し、学校経営の視点から共に問い直していきたいと思えます。

2022年4月1日現在

酒井 英樹

さかい ひでき

英語教育学、第二言語習得



学習者の英語習得のプロセス、教室内のインタラクションの分析を行っています。英語による言語活動の質や英語のコミュニケーション能力の獲得の点から、学びを大切にした指導の在り方（目標設定、教育方法、内容、評価など）を追究します。

2022年4月1日現在



# 下山 真衣

しもやま まえ

障害児者心理学、応用行動分析学



発達障害や知的障害のある子どもたちの行動問題やメンタルヘルスについて研究しています。多様な子どもたちが安心して、お互いに活躍できる学校づくりや授業づくりについて、応用行動分析学の観点から共に考えていきたいと思っています。

2022年4月1日現在

# 白鳥 勝教

しろとり かつのり

教師教育



私たちは授業実践を通して、子供たちや同僚の先生方、地域の皆さんと共に学び合い、新しい社会へと歩み続けています。「豊かな学び合い」の実現のために、授業実践における思いや願い、問いを持ち寄って、学ぶことの意味を考え合っていきましょう。

2022年4月1日現在

茅野 公穂

ちの きみほ

数学教育学、科学教育



子どもたちの活動を、数学的活動の質など数学教育学の立場から研究しています。子どもたちの確かで豊かな学びを実現するために、小1から高1までの10年間の学びを視野に入れて、目的、内容、教育方法、評価の観点から授業づくりをすることができるようにしたいと思います。

2022年4月1日現在

戸塚 拓也

とづか たくや

国語教育、学級経営



子どもたちは授業を通して学び、力をつけていきます。しかし、その授業に苦しむ子どももいます。子供たちが学校生活に意味や価値を見出し、学ぶことが楽しいと感じ、力がつけていくために教員は何ができるでしょうか。皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。

2022年4月1日現在

西 一夫

にし かずお

国語教育学、古典文学教育



国語科教科書を中心にした教科書研究・教材開発の研究を行っています。児童生徒の学びの手がかりとなる教科書分析を通して、教材の形態や学びの内容を検証し、新たな学習活動の提案や教材の発掘・再評価を行います。また重複教材の系統的・螺旋的な授業づくりの方法についても実践的な検討を行います。

2022年4月1日現在

# 林 寛平

はやし かんぺい

比較教育学、教育政策学、教育行政学



北欧の教育を中心に、世界の改革動向を研究しています。PISA などの国際学力調査が各国の政策に強く影響するようになり、世界中の学校が標準化に向かっていきます。一方で、教育は地域の歴史や文化、制度に応じた固有の営みでもあります。教師や学校はこの違いをどう考え、多方面からの要求にどう向き合えばいいのでしょうか。世界的な潮流と具体的な事例を突き合わせ、未来の教育の在り方を一緒に考えましょう。

2022年4月1日現在

# 原 洋平

はら ようへい

特別支援教育、教師教育



知的障害をもった子どもたちが生き生きと活動する授業の実現に向けて、子どもたちと共に生活する教師の在り方、実態把握の方法、環境の整え方などを視点に研究をしています。子どもたちは、一人一人個性があり、考え方も多様です。そんな子どもたちの願いや思いを大切に授業について、先生方と一緒に考えていきたいと思っています。

2022年4月1日現在

# 伏木 久始

ふせぎ ひさし

教育方法学、教師教育学、カリキュラム開発



学校教育で一般的に行われている一斉画一型授業とは異なる個に応じた教育方法（オルタナティブ教育）を、次世代型学習として国際的な視野から研究しています。学校現場へは、生活科や総合的な学習の授業づくりやアクティブ・ラーニングに向けた授業研究、特別活動の指導や各種ワークショップ型研修の講師として出かけています。教える側の論理よりも、学ぶ側の論理で授業を問い直す機会を提供したいと思っています。

2022年4月1日現在



三崎 隆

みさき たかし

理科教育学



私たちの研究室は、小学校及び中学校において理科の授業で学ぶ児童生徒の学修状況を調査し、量的・質的分析を加えながら、臨床的な教育研究として実証的に進めています。理科の授業内容研究、理科の教材開発研究、理科の指導案構築研究、理科の授業方法研究、理科の授業分析研究を行います。

2022年4月1日現在

# 宮下 昭夫

みやした あきお

学校経営 教師教育



今、学校現場は、「学校とは何か」「教育とは何か」「共に学ぶとはどういうことか」という根源的な問いと向き合い、他者と協働しながら、新たなものを生み出したり、意味付け直したりしています。子どもの事実と向き合いながら、未来を拓く学校づくりについて一緒に考えていきたいと思っています。

2022年4月1日現在

# 宮地 弘一郎

みやじ こういちろう

発達生理心理学， 重度肢体不自由教育



行動から反応が捉えにくい重症心身障害児について、まばたきや心拍などの生理心理学的方法を用いた発達評価、実践の評価と向上に関する研究を行っています。また、長期入院児や重度肢体不自由児など、学習上の重い制約があるためにその子が本来もっている学力の保障や発達の保障が困難となっているような子どもの支援について研究しています。

2022年4月1日現在

# 谷塚 光典

やつか みつのり

教師教育学、教育工学



教師教育（特に教員養成）における教職eポートフォリオの活用について研究しています。チームでのカンファレンスや教職eポートフォリオでの自己評価・相互評価を繰り返すことで、省察が深化していきます。学校課題や自己課題の解決のための実践と省察に関わりながら、学び続ける教員を支えていきたいと考えています。

2022年4月1日現在

柳澤 厚志

やなぎさわ あつし

学級経営



今ほど、管理職の学校経営の実力が問われ、ミドルリーダーをはじめチーム学校としての力が試されている時代はないと思います。社会に開かれ学びを深める学校づくりに向け、様々な実践やお互いの経験をもとに、熟議を通して深めていきたいと思っています。

2022年4月1日現在